

基肥と同時施肥で追肥いらず

● NIKプラス160 ●

16-0-20



15kg

供給 ●▲ JAグループ

基肥と同時施肥で省力化

NK プラス160

15kg

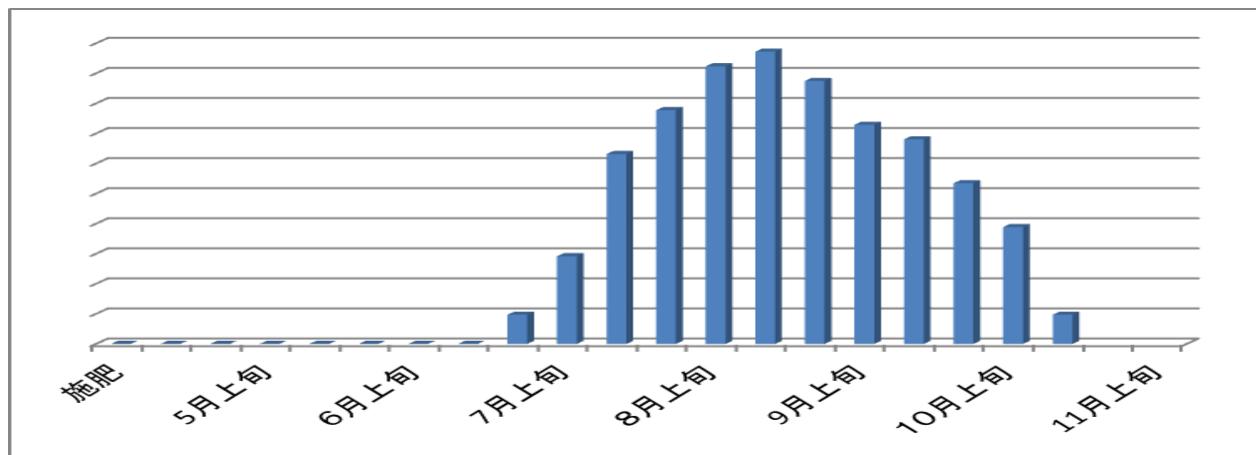
●成分(%)

窒素 16	りん酸 0	加里 20		苦土
緩効性16	—	速効性14.4	緩効性5.6	緩効性1

●特長

- ① 緩効性窒素は初期の溶出抑制タイプで、生育後半まで肥効が持続します。
- ② 基肥と同時期にNK プラスを施肥しておくことで収穫期の追肥作業が軽減できます。
- ③ 加里成分は、速効性・く溶性・被覆加里をバランスよく配合していますので、長期間肥効が継続しています。

●窒素溶出(追肥成分) 夏秋なすでのイメージ



●基準施用量

作物	施肥量
生育期間5か月以上の果菜類等	30~120kg (2~8袋)

※これは基準量ですから、作物(品種)・目標収量・土壌診断結果により適宜加減してください。

製造株式会社 JAグリーンとちぎ